



平成30年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年6月8日

上場会社名 株式会社シルバーライフ 上場取引所 東
 コード番号 9262 URL <https://www.silver-life.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 貴久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 片寄 達哉 TEL (03) 6300-5629
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第3四半期の業績（平成29年8月1日～平成30年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第3四半期	4,739	24.8	430	21.7	480	19.1	299	12.7
29年7月期第3四半期	3,797	—	353	—	403	—	265	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第3四半期	61.91	59.88
29年7月期第3四半期	66.14	—

- (注) 1. 平成29年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの当社株式は平成29年7月期第3四半期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 当社株式は平成29年10月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から平成30年7月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は平成29年3月4日付で普通株式1株につき20株の株式分割を、平成30年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
30年7月期第3四半期	3,735	2,888	2,888	77.3		
29年7月期	2,166	1,208	1,208	55.8		

(参考) 自己資本 30年7月期第3四半期 2,888百万円 29年7月期 1,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年7月期	—	0.00	—	—	—
30年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年7月期の業績予想（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,184	17.9	532	12.0	590	9.4	384	1.8	77.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成30年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年7月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期3Q	5,250,400株	29年7月期	4,012,000株
② 期末自己株式数	30年7月期3Q	50株	29年7月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年7月期3Q	4,832,980株	29年7月期3Q	4,012,000株

(注) 当社は、平成29年3月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を、平成30年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国の経済は雇用情勢や企業収益などの改善が進み、緩やかながらも回復基調が続いております。

当社が属する高齢者向け配食サービス業界におきましては、高齢者人口及び一人暮らし高齢者世帯の増加等を背景に、市場は引き続き拡大傾向が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、営業施策として引き続きFC加盟店の積極的な開発、高齢者施設向けの食材販売では継続したFAXDM等の営業施策を行いました。

製造面については、増加する製造量に対応するため自社工場の製造設備増強を継続的にを行い、製造工程の見直しを進めることにより一層の効率化を図りました。

物流面については、平成29年10月に稼働を開始した赤岩物流センター（冷凍冷蔵倉庫兼物流センター 群馬県邑楽郡）により、増加する物流量に対応することが可能となったことで、冷凍弁当販売における新たな販売先の開拓にもつながりました。

また、今後の事業拡大に備えて新工場の建設を予定しておりましたが、この度、平成30年4月27日開催の臨時取締役会において、栃木県足利市の羽刈工業団地内の土地を取得し、新工場を建設することを決定いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,739,904千円（前年同四半期比24.8%増）、営業利益は430,293千円（同21.7%増）、経常利益は480,196千円（同19.1%増）、四半期純利益は299,188千円（同12.7%増）となりました。

販売区分別の業績は、次のとおりであります。

① FC加盟店

フランチャイズを展開しているFC加盟店向け販売では、「まごころ弁当」及び「配食のふれ愛」の2ブランドによる積極的な店舗展開を図ってまいりました。これにより、「まごころ弁当」は前事業年度末より15店舗、「配食のふれ愛」は36店舗それぞれ増加しました。この結果、店舗数は前事業年度末より51店舗増加し、614店舗となりました。

また、既存FC加盟店向けの売上高につきましても、当社スーパーバイザーによる店舗臨時時のきめ細かな営業指導等により順調に伸びております。

この結果、FC加盟店向け販売における当第3四半期累計期間の売上高は3,497,236千円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

② 高齢者施設等

高齢者施設等向け食材販売サービスである「まごころ食材サービス」では、介護報酬削減の影響により、民間配食業者への効率的な食材販売サービスへの需要が高まっております。継続して実施しておりますFAXによるDMの効果等により、順調に新規契約を獲得することが出来ました。

この結果、高齢者施設向け食材販売における当第3四半期累計期間の売上高は778,609千円（前年同四半期比49.0%増）となりました。

③ OEM

OEM販売では、引き続きOEM販売先との頻繁な打合せを行い細かな改善を施していったこと、赤岩物流センターの稼働による供給体制の強化を行った結果、新たな販売先の開拓により、販売額は順調に推移しました。

この結果、OEM販売における当第3四半期累計期間の売上高は464,058千円（前年同四半期比51.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より1,152,330千円増加し、2,615,875千円となりました。

これは主に、現金及び預金が987,853千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より416,462千円増加し、1,119,170千円となりました。

これは主に、有形固定資産が383,871千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より71,728千円減少し、728,762千円となりました。

これは主に、短期借入金が100,000千円減少したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より39,888千円減少し、117,365千円となりました。

これは主に、長期借入金が42,070千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より1,680,410千円増加し、2,888,918千円となりました。

これは、資本金が690,697千円、資本剰余金が690,697千円及び利益剰余金が299,188千円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の業績予想につきましては、平成29年10月25日付けの「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	728,156	1,716,009
売掛金	536,075	632,823
商品及び製品	26,609	34,890
原材料及び貯蔵品	10,442	14,503
その他	185,695	244,009
貸倒引当金	△23,435	△26,361
流動資産合計	1,463,544	2,615,875
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	264,032	564,709
機械及び装置(純額)	151,703	301,413
その他(純額)	174,703	108,187
有形固定資産合計	590,439	974,310
無形固定資産	55,641	86,231
投資その他の資産		
その他	72,159	77,086
貸倒引当金	△15,532	△18,457
投資その他の資産合計	56,627	58,628
固定資産合計	702,707	1,119,170
資産合計	2,166,252	3,735,045
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,410	401,863
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	86,210	61,010
未払法人税等	103,075	97,555
賞与引当金	—	7,160
その他	172,794	161,173
流動負債合計	800,490	728,762
固定負債		
長期借入金	42,070	—
その他	115,184	117,365
固定負債合計	157,254	117,365
負債合計	957,744	846,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,495	701,192
資本剰余金	495	691,192
利益剰余金	1,197,517	1,496,705
自己株式	—	△171
株主資本合計	1,208,507	2,888,918
純資産合計	1,208,507	2,888,918
負債純資産合計	2,166,252	3,735,045

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)
売上高	3,797,983	4,739,904
売上原価	2,802,589	3,473,433
売上総利益	995,393	1,266,471
販売費及び一般管理費	641,790	836,177
営業利益	353,602	430,293
営業外収益		
受取利息	3,273	4,808
貸倒引当金戻入額	90	—
受取補償金	38,005	47,299
その他	9,381	14,484
営業外収益合計	50,750	66,592
営業外費用		
支払利息	867	624
貸貸費用	—	4,013
貸倒引当金繰入額	—	1,974
株式公開費用	—	9,982
その他	375	95
営業外費用合計	1,243	16,689
経常利益	403,110	480,196
特別利益		
固定資産売却益	—	149
特別利益合計	—	149
特別損失		
固定資産売却損	—	7,814
固定資産除却損	299	3,504
特別損失合計	299	11,318
税引前四半期純利益	402,811	469,027
法人税、住民税及び事業税	139,171	162,651
法人税等調整額	△1,729	7,188
法人税等合計	137,441	169,839
四半期純利益	265,369	299,188

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年10月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、平成29年10月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行500,000株を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ575,000千円増加しております。

また、平成29年11月16日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による新株式発行97,500株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ112,125千円増加しております。

さらに、当第3四半期累計期間において、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,572千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において資本金は701,192千円、資本準備金は691,192千円になっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、食材製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。